



# 奨学金を支給する条例改正を提案

## 高校生 月1万2000円

## 大学生 月2万円

共産党4名と  
2名の区議

6名で提出

共産党区議4名(大滝、いのくま、熊田、風見)は、給付型の奨学金制度をつくるため条例案を検討し、まとめました。

議会に提案する前に、各党派、議員に共同提案を申し入れました。その結果、玉木まこと議員、榎本茂議員が賛同し、6名での提案となりました。

内容は、現行の「港区奨学資金に関する条例」を一部改正し、給付型の奨学金を創設するものです。高校生などは月1万2000円、大学生などは月2万円支給します。

現状では、奨学金を借りると、平均的なケースで300万円、多い場合は1000万円もの借金を背負って社会人としてスタートしています。

非正規雇用の増大などで就職しても、収入は不安定で、多くの若者が年収300万円以下の賃金で働いています。

国民の運動の結果、わずかですが国も給付型奨学金制度を始めました。東京都も高校生向けの制度を始めました。しかし、対象者が限られているため、対象から外れれば、進学をあきらめることになります。

そうしたことがないよう、奨学資金に関する条例の一部改正条例を提案しました。議会で可決すれば条例は決定されます。区民のみなさんからも実現へ応援をお願いします。

## 「加計学園」疑惑の真相究明求める 意見書を共産党が提案

自民・公明などが反対 **まとまらず**

日本共産党区議団は、定例会議のたびに、その時々焦点となっている問題で、国や東京都に対して、意見書(案)を提案しています。

6月定例会では、①「加計学園」疑惑の真相究明を求める。②「新交通ゆりかもめ」にもシルバーパスの適用を求める。③国民健康保険の国庫負担割合の引き上げを求める。……という意見書3件を提案しました。どの意見書案も、多くの区民の賛同を得られるものと確信しています。ところが、港区議会では、自民党・公明党などが賛同せず、まとまりませんでした。

こうした区議会の動きについてもご意見をお寄せください。

## 高すぎる国保料への苦情・問い合わせ 1982件 寄せられる

二〇一七年度の国民健康保険料の通知が発送された後、十日間で区に寄せられた苦情や問い合わせは千九百八十二件と昨年と比べ三百二十六件増と大幅に増えています。「収入が増えないのになぜこんなに保険料が上がったのか」と言った怒りの声が共産党にも届いています。今年度の値上げ額は平均で七千二百五十二円で平均保険料が十一万八千四百四十一円にもなります。

また、来年度からは国民健康保険が広域化(保険者が東京都)されます。それに伴って、保険料の引き上げが想定されています。

日本共産党は命と健康を守る立場で、保険料一百万円の引き下げ、区一般財源を投入し保険料を引き下げよう求めてきました。

みなさんと力を合わせ、高すぎる保険料の引き下げに取り組みます。

国交省の

## 羽田新飛行ルートはあまりに危険

### 港区上空を600メートルから400メートルで飛行



共産党区議団は、定例会のたびに質問してきました。新飛行ルート案を知った区民は「住宅の真上を低空で飛ぶなんて認められない」との声が広がっています。港区の上を低空で飛ぶことで、騒音、落下物、万が一の墜落などの危険があります。

港区上空あたりで、着陸態勢のため車輪を出す可能性もあり、落下物の危険性が心配されます。この間、区や議会からの要請によって、教室型の説明会が高輪、青山・赤坂、港南地域で開催されました。しかし、国交省の説明会の進め方は、対象地域以外の人は参加対象とせず、質問することを認めません。参加者が具体的に質問してもまとまらずに答えていません。

共産党区議団は、①港南地域での教室型説明会を引き続き開催すること。②高輪、青山・赤坂地域でも教室型説明会を再開すること。③未開催の麻布、芝地域で教室型説明会を開催すること。④説明会にあたっては、

港区上空あたりで、着陸態勢のため車輪を出す可能性もあり、落下物の危険性が心配されます。この間、区や議会からの要請によって、教室型の説明会が高輪、青山・赤坂、港南地域で開催されました。しかし、国交省の説明会の進め方は、対象地域以外の人は参加対象とせず、質問することを認めません。参加者が具体的に質問してもまとまらずに答えていません。

区長は、①、②、③については、教室型説明会につきましても、既に実施した高輪、赤坂・青山、港南地域において再度開催することや、未実施の芝、麻布地区で開催することについて、地域からの要望等も踏まえ、引き続き国土交通省へ強く要請する。④、⑤についても要請すると答えました。

区民等を参加対象とすること、質問には具体的に答えること、⑤港区民の合意が得られないまま、国交省が計画をこり押ししないこと。…の5点について、港区から国土交通省へ強く要求するよう質問しました。

## 都議会議員選挙の結果… 染谷ふみ子さん大健闘

### 公約実現へ奮闘します



日本共産党の染谷ふみ子候補（助産師、党地区医療・福祉の相談室長）は、前回得票の1.7倍、1万1434票を獲得、大健闘しました。告示の37日前に

出馬表明という短期間の活動にもかかわらず、急迫しましたが、あと一步届きませんでした。

野党共闘前進への期待や、無党派層の方々からも、共感が数多く寄せられました。

また、国政での政治の私物化や共謀罪法の強行など、暴走政治をストップさせたいという、大きな声も寄せられた結果となりました。

全都的に自民党の歴史的な大惨敗が特徴です。日本共産党は改選議席2増の19議席へと躍進しました。かかげた公約実現へ引き続き奮闘します。

## 議員の姿勢が問われる

### 簡易採決を主張しながら、継続審査に

### 自民・みなと政策会議・公明が謝罪

保健福祉常任委員会に提案された請願「コンビプラザ品川保育園における継続運営に関する請願」（代表ほか八十九名）の採決をめぐって、「判断を誤った」など異例の事態になりました。

請願内容は、「コンビプラザ」が開発により、保育園が使用できなくなるため継続運営の支援を求めるものです。質疑終了後、共産党の委員長が請願への態度表明を各会派に求めたところ、「簡易採決で」と声がでました。

港区議会の長年の慣例で、「簡易採決」とは、全員が一致して採択するということ意味です。

委員長は当然の流れとして、簡易採決に請願の採択を図りました。ところが

が、自民党、公明党、政策会議の委員が、請願採決の流れは「まずい」と思ったのか、急に意見を出してきて、採決ができない状況となり、長時間（二時間十分）の休憩をとることになりました。

再会後の委員会冒頭、自民・みなと政策会議・公明党の委員が、請願者を長時間待たせたことや、議会運営に迷惑をかけたことに対して謝罪しました。

謝罪のあと、態度表明の申し出があり、各会派が態度表明をおこない、継続審査となりました。

この請願には、紹介議員に一七名も署名をしながら、継続審査にするなど、区民に理解が得られるのでしょうか。

## みなと保育サポート事業のひとり親世帯

### 第1子保育料が無料、 年収約360万円未満対象

第2回定例会で、認定こども園及び認可保育園に通う年収約360万円未満のひとり親世帯の第1子の保育料は半額でしたが、4月から無料になりました。それを受けて、みなと保育サポート事業のひとり親世帯の保育料の軽減について検討が行われ、みなと保育サポート事業（定期利用保育）を利用している年収約360万円未満のひとり親世帯の第1子の保育料が無料になりました。施行は7月1日ですが、4月1日に遡って適用となります。

か。

また、長年の議会の慣例を知らないのか、審議に集中していなかったのか、議会ルールの無知さや不誠実さもあらわになりました。

#### 〈各会派の謝罪〉

**自民（池田こうじ議員）** 請願者の皆様にお時間を取らせていただきまして大変申し訳ありませんでした。また委員会の運営にご迷惑をおかけ致しましてお詫び申し上げます。

**みなと政策会議（清家あい議員）** 判断に迷ってしまいました。委員会運営に混乱を招き、請願者の方々には大変長い時間お待たせしてしまつたことを心からお詫び申し上げます。

**公明（近藤まさ子議員）** 請願者の皆様には長時間お待たせをしてしまいました。申し訳ありません。また、委員長には議会運営、委員会運営にご迷惑をおかけ致しました。心よりお詫び申し上げます。

## 初のサービス付き高齢者集合住宅（六本木）



シティハイツ六本木の区営住宅の建て替えに伴い、区営住宅（五十戸）、サービス付き高齢者向け住宅（単身用三十戸）、障害者のグループホーム短期入所含む（十二戸）、自転車駐輪場（収容台数四百二十八台）の建築が終わり、十月入居を目指して準備が進められています。

港区で初となる「サービス付き高齢者向け住宅」は三十戸整備されます。日本共産党は家賃設定に対して、低所得者も入居できるように、所得に応じた家賃設定となるよう、機会ある毎に質問で取り上げてきました。その結果、所得に応じて六段階（二万四千元～二万八千八百円）の家賃設定が実現しました。

## 芝浦小への特別支援学級設置に関する請願

### 共産党は採択主張 自民・公明などが継続審査に

請願者は、知的障害を伴う娘さんの小学校入学にあたり、自宅からも近く、姉、兄も通っている芝浦小学校に入学させたいと、二年前から特別支援学級の設置を要望してきました。しかし、設置されなかったため今年度で普通学級へ入学したものの、支援学級のある学校への転校を勧められ、平成三十年四月開設を目処に早急な対応を求めているものです。

区民文教委員会の審議で、区は現在四校に特別支援学級があるので、新たな設置は考えていないとの態度でした。党委員は保育園からの友だちや姉、兄などの助け合いなどを通じて絆を強めていることから、請願の採択を主張しました。しかし他の会派すべてが継続審査を主張したため継続となりました。

## 所属委員会がかわりました

困ったときは  
すぐ相談を  
弁護士と区議会議員が  
ご相談に応じます



大滝 実

建設常任委員長/交通・環境等対策特別委員/エレベーター等対策特別委員/議会運営委員



いのくま 正一

区民文教常任副委員長/交通・環境等対策特別委員/議員団幹事長



風見 利男

保健福祉常任委員/東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員長/議員団副幹事長



熊田 ちづ子

総務常任委員/行財政等対策特別委員/議員団長